

## 会 議 録 ( 1 )

会 議 の 名 称	令和7年度 第3回入間市障害者自立支援協議会
開 催 日 時	令和7年 11月14日(金) 午後4時00分開会/午後5時15分閉会
開 催 場 所	入間市役所5階 501会議室
議長名	粕谷会長
出席委員(者)氏名	粕谷会長、松本副会長、大森委員、深井委員、井上委員、 諸井委員、石垣委員、田中委員、阿部委員、沼沢委員、 小嶋委員、今井委員、高橋委員、上野委員 (委託相談支援事業所) 菅野氏、山田氏、富田氏、西尾氏、川戸氏 (就労支援センターりぼん) 井上センター長、大木氏
欠席委員(者)氏名	吉野委員
会 議 次 第	1 開会 2 会長あいさつ 3 議題 (1) 専門部会報告 (2) 相談支援事業所連絡会報告 (3) 入間市就労支援センターりぼん事業報告 (4) 障害者福祉プランについて (5) 障害者差別解消支援地域協議会について (6) その他 4 その他 事務局からのお知らせ 次回日程 令和8年2月20日(金) 午後4時～午後5時15分 入間市役所C棟5階501会議室 5 閉会
配布資料	1 令和7年度 第3回入間市障害者自立支援協議会全体会 次第 2 令和7年度 委員名簿 3 令和7年度 第2回こども部会 報告書 4 令和7年度 第2回こども部会 議事録 5 令和7年度 第3回こども部会 記録 6 令和7年度 第2回地域生活支援部会 報告書 7 令和7年度 第2回地域生活支援部会 議事録 8 令和7年度 第3回相談支援事業所連絡会 報告書 9 令和7年度 第3回相談支援事業所連絡会 議事録 10 令和7年度 第4回相談支援事業所連絡会 報告書 11 令和7年度 第4回相談支援事業所連絡会 議事録 12 令和7年度 第5回相談支援事業所連絡会 報告書 13 令和7年度 第5回相談支援事業所連絡会 議事録 14 令和7年度 第6回相談支援事業所連絡会 報告書 15 令和7年度 第6回相談支援事業所連絡会 議事録 16 就労支援センターりぼん活動報告 17 障がい者福祉プランについて(案)

	<p>18 障害者差別解消支援地域協議会について</p> <p>19 『第5回みんな一緒にステキな入間アート展』チラシ</p> <p>20 『Standard Support』</p>
事務局職員職氏名	<p>(障害者支援課) 小笠原課長 市村副主幹、木戸副主幹 町田主任、奉壽主任</p> <p>(障害者基幹相談支援センター) 石黒センター長、深澤相談員</p>
会議録作成方法	要点筆記

## 会議録（２）

### 議事の概要（経過）・決定事項

#### ■議題

##### 専門部会報告

- ・こども部会  
（こども部会会長石垣委員より配布資料に基づき報告）
- ・地域生活支援部会  
（地域生活支援部会会長上野委員より配布資料に基づき報告）

##### 相談支援事業所連絡会報告

（障害者基幹相談支援センター石黒センター長より配布資料に基づき報告）

##### 障害者就労支援センターりぼん事業報告

（就労支援センターりぼん井上センター長より配布資料に基づき報告）  
令和7年7月から9月の活動内容を共有した。

##### 障がい者福祉プランについて

（障害者支援課市村副主幹より配布資料に基づき説明）

##### 障害者差別解消支援地域協議会について

（粕谷会長より配布資料に基づき説明）

## 会 議 録 ( 3 )

発 言 者	発 言 内 容
	(委員及び事務局の発言が行われた部分のみ記述する。)
木戸副主幹	(開会) 過半数の委員が出席しているため、会議として成立。
粕谷会長	(挨拶) 明日よりデフリンピックが開催される。東京で開催されるのは初めてということで、皆様からも是非広報していただければと思う。因みに入間市から近い場所では東大和市がボウリングの会場となっており、観戦は無料とのこと。今期の自立支援協議会は折返し地点を過ぎた。来期に向けてまとめていく時期に入ってきたため、今後も良い討議が出来ればと思う。
木戸副主幹	議題に入る前に人事異動で、新たに委嘱された委員の自己紹介を行う。 (大森委員、小嶋委員による自己紹介)
石垣委員	(議題(1)専門部会報告) (こども部会) 令和7年度第2回こども部会(令和7年7月28日開催) 地域で生活している子どもたち通う公立小学校・中学校・特別支援学校で、実際にどのような活動をしているかを、公立小学校・中学校は井上委員より、特別支援学校は石垣よりそれぞれ説明をし、共有した。  令和7年度第3回こども部会(令和7年9月25日開催) 第1回入間市児童の発達支援に係る関係機関連絡会に、こども部会として参加し、発達性協調運動症の特性の理解や、それに基づいた支援目標の設定等、グループワークを行いながら理解を深めた。
上野委員	(地域生活支援部会) 令和7年度第2回地域生活支援部会(令和7年7月29日開催) 相談窓口のチラシをどの様に発信するか、発行数や予算、手段を情報共有しながら、検討した。また、チラシに掲載するキャッチコピーをグループワークにて話し合った。 9月26日にはチラシの内容について書面会議を予定していたが、間に合わず引続き現在も作成中である。
石黒センター長	(議題(2)相談支援事業所連絡会報告) 令和7年度第3回相談支援事業所連絡会(令和7年6月24日開催) 相談支援で陥りやすい状況に対して、支援の捉え方や対応の幅を広げるために、お互いの実体験を共有することに重きを置いて、事例検討を行った。  令和7年度第4回相談支援事業所連絡会(令和7年7月23日開催) 国立障害者リハビリテーションセンターの方をお招きして、その沿革や概要、自立支援局が提供する福祉サービスについて、説明をいただき共有した。 また、障害者支援課より地域生活支援拠点等における緊急時の対応の流れについて、フローチャートに沿って説明をいただき共有した。 更には、6月に開所した児童発達支援『とちの木豊岡』の方に、事業所紹介をしていただき、情報共有を行った。  令和7年度第5回相談支援事業所連絡会(令和7年9月16日開催) グループホーム事業者及び相談支援専門員交流会として、市内のグループホーム事業者と相談支援専門員とで「対応困難ケースについて」「グループホーム利用者の日中の過ごし方について」「緊急時対応について」を話し合い、現状と課題を共有した。

発 言 者	発 言 内 容
	<p>令和7年度第6回相談支援事業所連絡会（令和7年10月15日開催） 手をつなぐ親の会の方より、自閉症の方とのコミュニケーションツールについて、実際の成功例を踏まえてご説明いただいた。 また、社会福祉協議会の方をお招きして、成年後見制度、特に法定後見制度について、説明をいただき共有した。</p>
井上センター長	<p>（議題(3)就労支援センターりぼん事業報告） 現在、登録者数が562人。就労者が345名となっている。転職3名とあるが、3名とも障害者雇用ビジネスが行っているコーヒー豆の焙煎関係の仕事に転職しており、最近は、このような障害者雇用ビジネスに就く傾向があると感じている。 7月から9月に特別支援学校の卒業予定者向けの登録説明会や、夏休みを利用しての卒業予定者と保護者との面談を実施した。 障害者就労支援機関情報交換会と西部圏域就労支援センター情報交換会では、どちらも就労選択支援事業について取り上げられたが、全体的な進捗状況には斑があり、制度への理解や準備に課題があることを共有した。 また、就職に向けて実習をしている方の中では、企業によっては人事部の対応は良いが、現場の理解が進んでいない現状があるという声も聞かれ、障害者雇用が社会全体に広まっていくには、まだ時間がかかると感じている。</p>
小笠原課長	<p>障害者雇用ビジネスのコーヒー豆の焙煎関係の仕事とは、雇用されている方は具体的にはどのような仕事をしているのか。</p>
井上センター長	<p>実際に見ていないが、コーヒー豆を焙煎し粉末にする一連の流れの作業をしているのではないかと推測している。一時は水耕栽培でハーブを育てる作業がよく見られたが、実際はあまり活用法がなかったようで、その代わりではないかと推測している。</p>
上野委員	<p>そのコーヒー豆の焙煎関係の企業は入間市にあるのか。</p>
井上センター長	<p>飯能市にある。</p>
粕谷会長	<p>転職した方々が、転職先をそこに選んだ理由を知りたい。</p>
井上センター長	<p>障害者雇用ビジネスは比較的業務負担が軽い傾向にある。転職した方々の転職理由が、体調不良や就職先の移転、人間関係であるため、ステップアップというより、負担の軽減が理由になっているのではないかと推測している。</p>
上野委員	<p>先程話にあがったが、障害者雇用をする企業の受け入れ体制を、人事部や総務部だけでなく、実際に障害者の方が配属される部署まで、どのように整えるかが重要になってくると思われる。</p>
粕谷会長	<p>実際に対応する現場の方々の障害者理解を深めたり、具体的な助言をしたりするようなサービス等はあるのか。</p>
上野委員	<p>自分が所属しているNPO法人DETでは、「そもそも障害者差別とは何なのか」「自分たちは何が出来るか」を考えてもらえるような研修を行っている。</p>
井上センター長	<p>県に障害者雇用総合サポートセンターがあり、そこで企業支援を行っている。</p>
粕谷会長	<p>就労前後の支援割合について、就労定着支援事業が開始されてから、変化はみられたか。</p>
井上センター長	<p>特に変化はみられない。</p>

発 言 者	発 言 内 容
高橋委員	<p>障害者の方の企業への受け入れ状況というのは、年々改善されているのか。また、収入面について、企業からの給与のみで生活できるのかを伺いたい。</p>
井上センター長	<p>障害者雇用率が上昇していることで、受け入れ先の企業は増えてはいるが、今まで経験のない企業の受け入れが難しい傾向にある。収入面については最低賃金から契約を開始するケースが大多数であり、また、障害者雇用は週20時間以上が対象となることもあり、常勤の収入とは差があるのが現状である。そのため、障害年金と給与を合わせたとしても、単独で生活することは難しく、家族の元で生活をしている方の割合の方が多いと思われる。</p>
諸井委員	<p>障害者雇用促進法で、民間の企業では障害者雇用率が現在2.5%に定められている。これは40人雇用している企業では、1人の障害者を雇用する計算となる。法改正により障害者雇用率が年々上昇するに伴い、受け入れ先も増えてはいるが、先述されたように、未経験企業の受け入れ体制を整えていくという課題が生じている。</p> <p>障害者雇用についてのサポートサービスとして、厚生労働省が発信している精神・発達障害者しごとサポーター養成講座では、ハローワークのナビゲーターが各企業に出向いて障害者雇用に対する認識を高める等、受け入れ体制の土台作りを進めている。</p> <p>一方、障害者雇用ビジネスが問題となっている。企業は雇用率をお金で買い、雇用された方は、就職した企業とは全く別の場所で、異なる作業を行うことが障害者雇用の意義なのかという意見もあるが、現在は障害者雇用の1つの方法として注視している現状がある。</p>
粕谷会長	<p>現在、埼玉県の福祉的就労における1ヶ月の平均収入は、2万円を切っている。一般就労である障害者雇用ビジネスとの給与の差は大きいという事実はある。</p>
粕谷会長	<p>(議題(4)障がい者福祉プランについて)</p> <p>障がい者福祉プラン策定のタイミングに合わせて、それぞれの部会で抽出された地域課題を整理し、入間市障害者福祉審議会(以下、審議会)に報告できるように進めることとなったが、まずは障がい者プランについての説明を障害者支援課よりお願いしたい。</p>
市村副主幹	<p>入間市障がい者福祉プランは障害者基本法に基づく「障害者計画」、障害者総合支援法に基づく「障害福祉計画」、児童福祉法に基づく「障害児福祉計画」を一本化したものである。国の障害者基本計画および埼玉県障害者支援計画を基として、入間市総合計画、元気ないるま福祉プラン(入間市地域福祉計画)、入間市子ども・若者未来応援プラン等との整合性を図りつつ、入間市の障害者施策の基本方針や方向性を示すものとしている。</p> <p>現行の「障害者計画」は5つの基本方針、9つの重点課題、14の施策で構成されており、障害者施策を総合的かつ計画的に推進するための基本計画となっている。審議会は、地域部会・子ども部会・啓発部会があり、障害者支援課からの基本方針や重点課題の変更報告を受けて、各々該当する施策や具体的な取り組みについて検討していく。来期においては、重点課題の文言の変更のみとなり、現行の障害者計画を踏襲するかたちになっている。</p> <p>また、現在ニーズについてのアンケート調査を実施しており、その結果を踏まえ、現状に即した施策となるよう、4月以降各部会にて検討していく。</p> <p>入間市障害者自立支援協議会(以下、協議会)で抽出された地域課題について、全体会で共有するとともに、入間市障害者計画に盛り込んでいきたいと考えているため、是非ご協力いただきたい。なお、審議会の日程の都合上、令和8年1月中までに各部会より障害者支援課に地域課題や取り組み等について、報告していただくと有難い。</p>

発 言 者	発 言 内 容
阿部委員	ニーズ調査のアンケートの内容や、その対象者を伺いたい。
市村副主幹	アンケートは身体障害、療育、難病の方等、1500名の方に無作為に送っている。回答期限は11/22としており、11/14時点で回答率は44%となっている。回答欄に記入者を問う欄があるが、基本的には当事者本人に向けたアンケートとなっている。
田中委員	審議会と協議会の関係性を伺いたい。
小笠原課長	審議会は、障がい者福祉プランについて、市長からの諮問を受けて答申をする機関となる。また、市が行っている事業の見直しの際等、必要に応じて諮問を受けて審議を行う場となっている。一方、協議会は地域の課題等、より現場の方が集まって忌憚なく意見交換をし、協議をする場となっている。入間市では、審議会の会長が協議会の委員として協議会に参加し、協議会の会長が審議会の委員として審議会に参加することで、それぞれの状況を共有できる体制をとっている。
田中委員	障害者福祉プランへの意見は、協議会の会長を通してあげるという理解で良いか。
小笠原課長	協議会全体からの意見は、粕谷会長や今井委員よりお話しただけと思うが、各部会で取り上げた地域課題や取り組みについては、各部会長や部会に参加している障害者支援課の職員に伝えていただければと思う。
上野委員	地域生活支援部会で協議し、次回全体会で報告という事で良いのか。
粕谷会長	障がい者福祉プランの策定は、前期のプランをベースに行う流れがある。協議会は地域課題に対して協議していく役割があるなかで、前期で取り上げた地域課題が、障がい者福祉プランのどの項目に該当するかという情報を提供する役割も担っていると考える。また、協議会が提供した情報を基に、障がい者福祉プランの文言を検討していくのは、審議会の役割であると考えている。そのため、各部会で課題とそれに該当する項目をまとめ、1月までに提供するという流れでそれぞれ取り組んでいただきたい。
粕谷会長	(議題(5)障害者差別解消支援地域協議会について) 今年の初め、入間市の障害者団体にヒアリングを行った際のご意見に対して、行政に確認出来たものは障害者支援課が回答をまとめた。現時点で返答できるものとして各障害者団体に返答し、今後も協議を深めていく必要があるものは、引き続き運営会議で協議をしていく。
上野委員	合理的配慮がなされた例として、西武鉄道が10/1より、ホームページで介助事前受付サービスを開始した。今までフリーダイヤルで受け付けをしなければならなかったのが、1ヶ月前から前日の17時までにホームページで受け付けが出来るように改善された。 必要な方がいたら、是非情報提供してほしい。
粕谷会長	(議題(6)その他) (「第5回みんな一緒にステキな入間アート展」について) 「第5回みんな一緒にステキな入間アート展」のチラシについて、審議会委員の黒古氏より周知依頼があったため、紹介させていただく。
今井委員	このアート展の詳細を調べるために、開催場所である入間市文化創造アトリエアミーゴのホームページを確認したが、掲載されていなかった。主催ではないにしろ、開催場所であるアミーゴのホームページからも内容が分かるような方法をとってほしい。

発 言 者	発 言 内 容
粕谷会長	<p>(障害者週間について)  12/3 より始まる障害者週間に合わせて、入間市では 12/1～12/5 の間、市役所内 1 階ロビーで各施設の紹介等を行う。自立支援協議会では毎年「障害者差別解消法について」のポスターを掲示させていただいている。今年も例年通りの参加で良いか。  →一同異議なし。</p>
石黒センター長	<p>(「Standard Support」について)  入間市手をつなぐ親の会会長の高田氏より情報提供いただく。  国立のぞみの園では「行動障害の状態にある人の支援者全国ネットワーク」を立ち上げ、その活動の情報共有の一環として広報誌「Standard Support」を発行した。</p>
松本副会長	(閉会挨拶)

議事の内容・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

令和 8 年 2 月 5 日

議 長 の 署 名

粕谷 浩史

議長が指名した者の署名

松本 より子